

## 日本民間生薬検定試験問題【初級】（令和7年12月21日実施）

受験番号

氏名

I】次の記述のうち、文の内容として正しいものをAまたはBから選び、記号に○をつけなさい。

1. 生薬はふつう原植物と〔 A 産地、 **B** 利用部位〕で定義されるが、加工法なども加わることがある。
2. 漢方薬というのは〔 **A** 日本、 B 中国〕で発展した伝統医学で使われる薬のことである。
3. 薬用植物の重要な古典として、1600年頃中国で編纂された〔 A 傷寒論、 **B** 本草綱目〕がある。
4. 花卉とガクの違いが不明なものや一方を欠く場合〔 A 苞、 **B** 花被〕と呼ばれる。
5. 裸子植物に〔 **A** 果実、 B 種子〕は存在しない。

II】次の記述のうち、文の内容として正しいものには○、間違っているものには×を（ ）に記入しなさい。

1. ( ○ ) ハコベは春から夏にかけて繁殖する2年草で、花は5弁、果実は卵形で春の七草の一つである。薬用部分は全草で、生薬名を繁縷といい、用途は利尿、浄血作用、また歯磨き粉としても使われている。
2. ( ○ ) ヤブガラシは川端、原野などにみられる蔓性植物で、根茎は紐状、地下を横走する。薬用部分は全草で、生薬名をウレンボといい、用途は消炎、利尿、鎮痛、解毒作用があり、打ち身、骨折に用いられる。
3. ( ○ ) ヒナタイノコズチは多年草で、太い節、秋に節が赤くなる。薬用部分は根で、生薬名を牛膝といい、用途は通経、浄血、また、腰痛、関節痛、のどの腫れに有効である。
4. ( × ) ツバキは常緑高木2～5月に花を咲かせる。薬用部分は葉、花で健胃、整腸に用いる。種子から得られた油は、オリーブ油といい、乾性油になる。

III】次の記述のうち、文の内容として正しいものには○、間違っているものには×を（ ）に記入しなさい。

1. ( ○ ) セイヨウタンポポの総苞は外側が反曲するが、カントウタンポポは内側も外側も反曲しない。
2. ( × ) フキの根を秋から早春にかけて採集し、日干ししたものを蒲公英と称し乳腺炎に煎じて服用する。
3. ( × ) フキの葉には体を温め止血の効があるので、生理不順、痔、下血などに用いられ、芍婦膠艾湯にも配合されている。
4. ( × ) ヨモギは春の七草の一つに含まれ、柔らかい葉を草餅にする。
5. ( ○ ) キク科の花は、たくさんの小花（筒状花や舌状花）が集まって一つの花のように見える“頭状花序”が特徴である。

2. 蒲公英根はフキではなくタンポポの根を日干ししたものだ。
3. この記述はヨモギの葉のことだ。

4. ヨモギは春の七草に含まれない。

IV】 次の記述はダイコンについての説明です。正しいものの番号に○をつけなさい。

1. 秋の七草の1つ。春に白～淡紅色の4弁の十字架状の花をつける。薬用部分は種子で生薬名・蕪菁子とよぶ。
2. 葉は切れ込みがある鋸歯状をしている。
3. 「カイワレダイコン」は生長するとダイコンになる。
4. 乾燥した種子を粉末にして腹痛や咳に、生の根をおろし風邪等に用い、打ち身、火傷、しもやけ等に貼る。
5. 根には消化酵素ジアスターゼを含み、でんぷん質の消化を助ける。

1. 春の七草ではスズシロ（ダイコンの葉）を使う。

V】 次の記述について、( ) に適語を用語欄から選びその番号を記入しなさい。

1. ウメの薬用部分は ( ⑥ ) で、生薬名を ( ③ ) といい、用途は ( ⑬ ) として用いる。
2. アンズ(胡桃)の薬用部分は ( ⑦ ) で、生薬名を ( ② ) といい、用途は ( ⑭ ) など、また緩下剤として ( ⑮ ) に用いる。
3. モモの薬用部分は種子及び ( ⑧ ) で、種子の生薬名を ( ① ) といい、用途は ( ⑯ ) などに用いる。

【用語欄】

- |                    |                           |               |          |          |        |
|--------------------|---------------------------|---------------|----------|----------|--------|
| ① トウニン             | ② キョウニン                   | ③ ウバイ         | ④ カッコ    | ⑤ オウセキソウ | ⑥ 未熟果実 |
| ⑦ 種子               | ⑧ 蕾・葉                     | ⑨ 周皮を除いた根、花、葉 | ⑩ 茎草(全草) |          |        |
| ⑪ 解熱、下痢止、結膜炎、喘息、染料 | ⑫ 発汗、解熱、鎮痙、食用として和菓子などに用いる |               |          |          |        |
| ⑬ 鎮咳、去痰、解熱、駆虫、収斂薬  | ⑭ 喘息、気管支炎などの咳嗽、呼吸困難、浮腫    |               |          |          |        |
| ⑮ 便秘               | ⑯ 産前産後、血の道症、月経不順、更年期障害    |               |          |          |        |

VI】 次の記述のうち、文の内容として正しいものには○、間違っているものには×を( ) に記入しなさい。

1. ( ○ ) アサガオの花冠は合弁でロート状であり、花びらが合着して1枚になっている合弁花類に属する。
  2. ( ○ ) ドクダミの葉はハート型で柔らかく、揉むと独特の匂いがすることから魚腥草(ぎょせいそう・魚の生くさい臭いのする草)の別名を持つ。
  3. ( × ) オオバコの根茎を虎杖根といい、秋から冬にかけて地上部が枯れた頃に根茎を掘って採取する。
  4. ( × ) イタドリの葉は長い柄をもつスプーン型であり、その葉脈は引っ張っても残るので、葉がちぎれても生き続けることができる。
3. オオバコではなくイタドリについての記載。オオバコの生薬名では種子を車前子(シャゼンシ)、全草を車前草(シャゼンソウ)という。車前子は秋に結実した種子を採取し、車前草は夏の花後に全草を採取する。
4. イタドリではなくオオバコについての記載。イタドリの葉は互生し(互い違いに出る)広卵形

で長さ 6~15 cm、先が急にとがっている。

Ⅶ】 次の記述のうち、文の内容として正しいものには○、間違っているものには×を ( ) に記入しなさい。

1. ( × ) チガヤの葉は茎より二列交互でである。
2. ( × ) 夏にジャノヒゲはつやのある美しい青色の果実をつける。
3. ( ○ ) 麦門冬は咳が出て特に痰が粘って取れない時に使う。
4. ( × ) チガヤの薬用部分(根茎)は太く、口根と言う。
5. ( ○ ) ジャノヒゲの葉は冬でも枯れず、初夏~夏に葉の中にかくれるように小さな花を咲かせ、薬用部分は塊根で麦門冬と言う。

Ⅷ】 次の記述はツユクサについての説明です。( ) に適語を用語欄から選びその番号を記入しなさい。

梅雨が明けてしばらくすると、青紫色の花を咲かせたツユクサ(露草)の群生がみられる。ツユクサは( ⑩ )草で、梅雨が終わり( ⑳ )の終わりごろまでに全草を採取し、よく洗ってから乾燥し、密閉容器に保存する。葉は( ④ )列で( ① )し、大きく重なった2枚の( ㉒ )色の花弁が目立つが、その下に小さな( ⑨ )色の花弁がもう1枚ある。その形や色から帽子花(ぼうしばな)、( ② )ともよばれ、花の汁を衣にこすりつけて染めていたことから古くは( ⑥ )とも呼ばれていた。

園芸種のオオボウシバナの花弁からとった青汁で紙を染めたものが( ⑧ )という製品になる。これを水に浸して染み出た色素を友禅染などの下絵を描くのに用いられている。

開花期に全草を乾燥させたものが生薬オウセキソウ(鴨跖草)で、その煎液を( ⑫ )、下痢止め、脳血栓予防、心臓病(尿の出がよくなり浮腫を去る)、喘息などに用いる。

【用語欄】

①互生 ②青花(あおばな) ③喘息 ④ 2 ⑤密閉 ⑥着草(つきくさ) ⑦化膿 ⑧青花紙  
⑨白 ⑩一年 ⑪絞り汁 ⑫解熱 ⑬煎 ⑭ 3 ⑮便秘 ⑯吐き気 ⑰痛み ⑱腰痛 ⑲多年  
⑳オオボウシバナ ㉑梅雨 ㉒青紫 ㉓夏

Ⅸ】 次の記述はボケとクサボケについての説明です。正しいものには○、間違っているものには×を ( ) に記入しなさい。

1. ( × ) ボケは日本特産で観賞用庭園樹である。
2. ( ○ ) ボケは2m前後の高さになり、針状枝がある。
3. ( ○ ) ボケの果実を生薬名モッカといい、その成分にクエン酸が含まれる。
4. ( × ) クサボケは果実ができるが針状枝は無い。
5. ( ○ ) クサボケは日当たりのよい斜面に自生し、高さ30~60cmの低木である。
6. ( ○ ) クサボケ酒の用途は不眠症、冷え性、疲労回復である。

1. ボケは中国原産。

4. クサボケにも針状枝がある。

X】 次の記述はノアザミとハハコグサについての説明です。( ) に適語を用語欄から選びその番号を記入しなさい。

1. ノアザミは多年草で頭花は ( ② ) である。
2. ハハコグサはオギョウともいい、( ③ ) の1種である。
3. ノアザミの根葉は羽状に中裂し、辺縁に ( ⑥ ) がある。
4. ハハコグサは越年生草本で ( ⑦ ) に白毛を生じる。

【用語欄】

①卵型 ②筒状 ③春の七草 ④秋の七草 ⑤粘着部 ⑥棘 ⑦全株 ⑧葉のみ